



2023

学校要覧



富山県立小矢部園芸高等学校

〒932-0805 富山県小矢部市西中210番地

TEL (0766) 67-1802

FAX (0766) 67-1509

E-Mail:oyabeengei@ed.pref.toyama.jp

HP:<http://www.oyabeengei-h.tym.ed.jp>

校

訓

叡知・感性・畏敬

教育目標

- 農の心を伝承する。
- 花を呼び寄せ、資質を磨く。
- 培った成果を発信する。

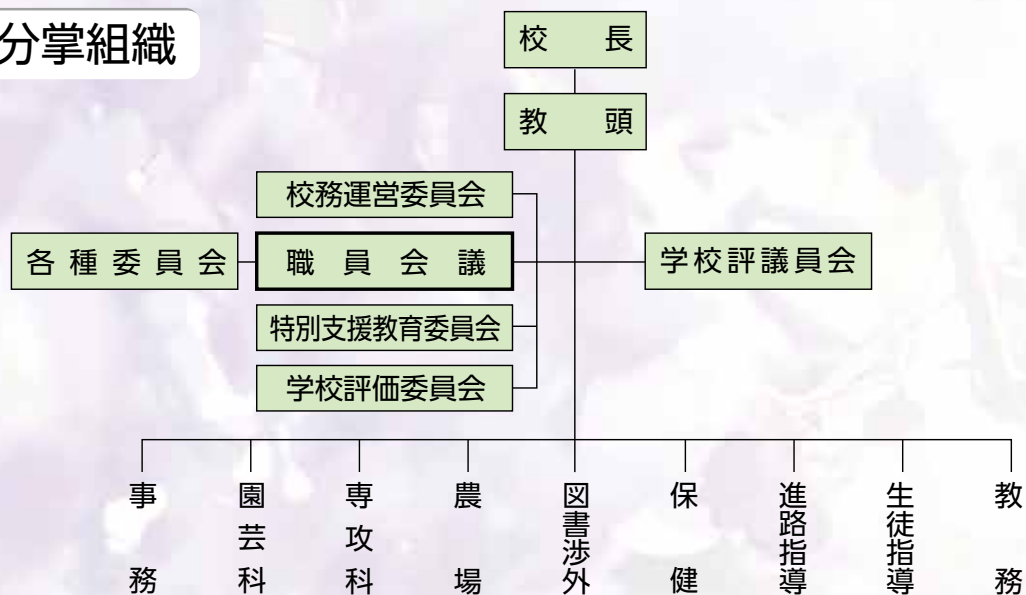
教育方針

- 学びたいものを自分で明確にする。
- 何事も実践に重きをおく。
- 多くの人との心の交流を大切にする。
- 責任意識を持ち、行動する。
- 楽しく学びを体得する。

沿革の概要

昭和26.	4.	1	富山県立出町高等学校若林分校として、若林中学校に併設開校
27.	4.	1	本校の校名変更により、富山県立砺波高等学校若林分校と改称
35.	4.	1	学校所在地の行政区域変更により、富山県立石動高等学校若林分校に変更
38.	4.	1	富山県立石動高等学校福岡分校と合併し、生活科新設
41.	4.	1	富山県立富山産業高等学校小矢部教場と改称
42.	3.	20	農具室、収納室266㎡竣工
42.	12.	20	養鶏実習室（育雛室）134及び温室1棟108㎡竣工
43.	4.	1	独立し富山県立小矢部産業高等学校と改称
43.	12.	10	農業機械室132㎡、成鶏舎132㎡及び農場管理宿泊室200㎡竣工
44.	3.	31	本校舎後館（特別教室）鉄筋三階建724㎡竣工
44.	12.	3	豚舎162㎡及び堆肥舎65㎡竣工
45.	3.	31	本校舎前館鉄筋三階建1,579㎡竣工
46.	3.	25	本校舎後館（特別教室）の延長工事、渡り廊下及び暖房機械室713㎡竣工
46.	11.	15	柳原農場19,000㎡新設
49.	4.	1	富山県立小矢部産業高等学校（定時制農業科、生活科）募集停止
			富山県立石動高等学校小矢部分校（全日制園芸科、生活科）設置
50.	12.	16	温室（ミスト装置付）198㎡、ボイラー室10.5㎡竣工
52.	3.	31	富山県立小矢部産業高等学校（定時制）閉校
53.	4.	1	専攻科（造園科）設置
54.	3.	30	柳原農場基盤整備第1期工事完了（8,435㎡）
55.	3.	31	柳原農場基盤整備第2期工事完了（7,741㎡）
56.	3.	30	柳原実習棟120㎡竣工
平成元.	3.	29	前館校舎外壁改修工事竣工
6.	4.	1	生活科、科名変更により生活科学科と改称
7.	4.	1	富山県立石動高等学校小矢部分校（園芸科、生活科学科）募集停止
			専攻科（造園科）募集停止
			富山県立小矢部園芸高等学校（単位制園芸科）に改称
			専攻科（園芸科）設置
7.	9.	27	特別教室棟内部改修工事竣工
8.	3.	28	生物学棟233㎡竣工
9.	10.	14	管理教室棟内部改修工事竣工（耐震補強含む）
13.	10.	20	創立50周年記念式典挙行・記念誌発刊
16.	9.	17	管理教室棟外壁・防水改修工事竣工
23.	3.	28	渡り廊下耐震補強工事竣工
23.	10.	9	創立60周年記念式典挙行・記念誌発刊
23.	12.	13	特別教室棟耐震補強工事竣工
24.	3.	26	管理教室棟外部改修工事竣工
24.	11.	5	特別教室棟外壁改修工事竣工
令和2.	4.	6	教室エアコン設置工事竣工
3.	10.	1	創立70周年記念式典挙行・記念誌発刊

校務分掌組織



職員組織

職名	校長	教頭	教諭	再任用教諭	養護教諭	実習助手	臨任講師	臨任実習助手	非常勤講師	事務職員	専門員	技能主任	校務助手	農業作業員	業務補助員	校医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師	計
数	1	1	12	5	1	3	2	1	7	2	1	3	2	2	1	1	1	1	1	1	46

在籍生徒数

単位制 本科

園芸	1年次	2年次	3年次	計
	17	15	17	49

専攻科

園芸	1年次	2年次	計
	38	42	80

校歌

大島文雄 作詞
森川隆之 作曲

一、立山の
高嶺が放つ 朝光は
わが砺波野に みちみちぬ
見ようるわしき この平野
沃土にこもる 先人の
魂深く 思わずや

二、小矢部川
ゆたかにめぐる 田園は
緑がもえて かがやけり
見ようるわしき この郷土
栄えある世紀 進みゆく
農業ここに 興さずや

三、さわやけき
沃野の風よ 白露よ
たがやす土は 香にたてり
見ようるわしき この大地
勤勞の汗 尊くも
わが行く道を 努めずや

教育課程表

本科 定時制の課程 園芸科 昼間単位制

履修形態及び学習方法

- (1) 昼間単位制により、3年間での卒業を可能とする。
- (2) 生徒の能力・適性・興味・関心を重視し、野菜・草花・造園の3系列を設ける。バイオテクノロジー等の先端技術を積極的に取り入れ、より専門性の高い内容を学習する。
- (3) 学校外における学修の単位認定を活用し、資格取得や就業体験に積極的に取り組む。

教育課程 (2023年度入学生)

ST	8:40～ 8:45
1限	8:50～ 9:40
2限	9:50～10:40
3限	10:50～11:40
4限	11:50～12:40
昼 休 み	
5限	13:20～14:10
6限	14:20～15:10
清掃	15:10～15:25
当番実習・部活動	

年次 単位	1 年 次	2 年 次	3 年 次
1	●現代の国語(2)	●言語文化(2)	○国語表現(3)
2			
3	●公共(2)	国語基礎／英語表現(2)	●地理総合(2)
4			
5	●数学I(3)	●公共(2)	●歴史総合(2)
6			
7	●科学と人間生活(2)	数学A／数学実践活用(2)	数学A／数学実践活用(2)
8			
9	●体育(3)	●生物基礎(2)	●化学基礎(2)
10			
11	●保健(1)	●体育(2)	●体育(2)
12			
13	○音楽I／美術I／書道I (2)	●英語コミュニケーションI(2)	英語表現／発展英語(2)
14			
15	●英語コミュニケーションI(2)	●家庭総合(2)	●課題研究(2)
16			
17	●家庭総合(2)	●課題研究(2)	●総合実習(2)
18			
19	●農業と環境(4)	●総合実習(2)	野菜／草花／ 造園施工管理・造園植栽(4)
20			
21	●総合実習(2)	農業経営／作物／測量(2)	農業機械／生物活用／ 食品流通(2)
22			
23	●農業と情報(2)	野菜／草花／ 造園施工管理・造園植栽(4)	農業と情報／果樹／食品製造(2)
24			
25	植物バイオテクノロジー(2)	造園施工管理・造園植栽(4)	農業経営／作物／測量(2)
26			
27	●総合実習(1)	●総合実習(1)	●総合実習(1)
28			
29	●総合実習(1)	●総合実習(1)	●総合実習(1)
30(課外)			
特 活	HR活動	HR活動	HR活動
就業体験	農業経営実習は総合実習の増加単位として認定		
その他	高等学校卒業程度認定試験合格科目→本校の設置する科目の単位として認定 取得資格→一定の基準により相応科目の増加単位として認定 本校に入学する前に修得した単位→一定の基準により本校で履修・修得した単位数に加える		

●必履修科目 ○選択・必履修科目 ()単位数



総合実習 (花壇苗の鉢上げ)



農業クラブ活動
(校内農業鑑定競技会)



農業と環境 (トウモロコシの栽培)

教育目標

高等学校卒業後、園芸に興味・関心の高い者及び造園に関する知識・技術の習得を希望する者に対し、適切な指導助言を行い、地域における環境緑化の推進・普及に応え得る人材の育成を図る。

教育内容

- (1) 野菜や草花の栽培実習・講座を通して、園芸に関する知識・技術の習得を目指す。
- (2) 樹木の管理や庭作りの実習・講座を通して、造園に関する知識・技術の習得を目指す。

教育課程 (2023年度入学生)

教科目名		単位数	園芸系列		造園系列	
			1年	2年	1年	2年
選択 科目	園芸概論	2	2			2
	園芸材料	4	2	2		
	園芸栽培管理	8	4	4		
	園芸デザイン	8	4	4		
	造園概論	2		2	2	
	造園材料	4			2	2
	造園施工管理	8			4	4
	造園デザイン	8			4	4
現場学習		10	5	5	5	5
在宅学習・課題研究		22	11	11	11	11
計			28	28	28	28

ST	8:40～ 8:45
1限	8:50～ 9:40
2限	9:50～10:40
3限	10:50～11:40
4限	11:50～12:40
昼休み	
5限	13:20～14:10
6限	14:20～15:10
LT	15:20～15:40
清掃	15:40～15:50

学習形態

集合学習（登校学習 現場学習）と在宅学習との併修を基本とする。

- (1) 集合学習……学年別月平均 4 回

登校学習：1年生 水曜日に登校し学習する。(県外研修 1泊2日)

2年生 金曜日に登校し学習する。(県外研修 3泊4日)

現場学習：年間計画に基づき栽培管理、庭園の鑑賞等を行う。

- (2) 在宅学習……自家／関連事業所において課題を選び、巡回指導を受けて学習する。



造園施工管理 (造園系列)



園芸栽培管理 (園芸系列)



現場学習 (全系列)

本校の特色

1. 特徴的教科・教育活動

- 「造園植栽」「造園施工管理」「課題研究」など、資格取得に対応した多様な科目を設置
 - ・造園技能士（2～3級）、造園施工管理技士（2級学科）
 - ・危険物取扱者
 - ・情報処理技能検定
- 「植物バイオテクノロジー」「農業情報処理」「課題研究」など、最先端の農業に対応した科目を設置
 - ・発光LED照明によるシクラメンの栽培
 - ・水稻育苗用ハウスを活用したメロンのボックス栽培
- 農業経営実習を増加単位に認定（県内優良農家）
- 日本学校農業クラブ連盟に加入し、各種の発表・競技大会に出場



植物バイオテクノロジー

日本学校農業クラブの記録

全国大会	農業鑑定競技会	優秀賞	2名(令和元年度)
県大会	プロジェクト発表会	優秀賞	3名(令和4年度)



農業クラブ全国大会 農業鑑定競技分野
園芸 最優秀(日本一!!)H28



メロンの玉ふき

2. ボランティア活動

- 特別養護老人ホームの雪吊り・雪囲い
- 地域の公共施設にプランター配置
- 地域の農業祭に協力
- 環境美化整備活動

3. 国際理解教育

- 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール
- 学生ユネスコ弁論大会



体育大会



自然環境保護活動



農産物即売会



課題研究発表会



造園技能士検定練習



全国定時制通信制陸上競技大会

進路状況

進 学

大 学 富山国際大学、高岡法科大学

短 大 富山短期大学、富山福祉短期大学、高山自動車短期大学

専 修・
各種学校 専門学校 職藝学院、富山大原簿記公務員医療専門学校、
富山調理製菓専門学校、金沢調理師専門学校、
金沢科学技術専門学校、国際ペット専門学校金沢校、
富山理容美容専門学校、北陸ビジネス福祉専門学校、
京都調理師専門学校、国際ホテル＆ブライダル専門学校、とやま農業未来カレッジ、
名古屋ECO動物海洋専門学校、国際調理専門学校、代々木アニメーション学院

就 職

公 務 員 自衛隊

県内企業 と な み 野 農 業 協 同 組 合、塩 谷 建 設 (株)、三 協 立 山 アルミ (株)、協 立 アルミ (株)、
川 田 ニ ッ ト (株)、(株)広 瀬 アルミ、(株)旭 工 業、(株)ト ナ ミ 産 業、(株)北 陸 LIXIL 製 作 所、(株)ユ ー キ フ ー ズ、
中 越 興 業 (株)、(株)ニ ュ ー レ デ ィ、IAAZAJ ホ ー ル デ ィ ン グ ス (株)、ホ ワ イ ト 食 品 工 業 (株)、(株)野 手 組、
(株)今 井 機 業 場、砺 波 造 園 土 木 (株)、た ち 建 設 (株)、ST 物 流 サ ー ビ ス (株)、
農 業 法 人 サ カ タ ニ 農 産、ト ナ ミ 運 輸 (株)、(株)井 上、(有)清 水 重 建、
(有)好 緑 園、(株)越 路 ガ ー デ ン、大 建 工 業 (株)井 波 工 場、新 光 硝 子 工 業 (株)、(株)森 の 環、
社 会 福 祉 法 人 福 寿 会、福 田 食 品 工 業 (株)、(有)サ カ タ ニ 造 園 土 木、(有)テ ー ・ シ ー ・ 富 山、
ハ リ タ 金 属 (株)、(株)ジ ェ ッ ク 経 営 コ ン サ ル タ ン ト、(株)宮 木 建 設、(株)み どり ふ あ ー む、新 越 部 品 (株)、
伊 藤 ハ ム デ ィ リ ー (株)北 陸 工 場、(株)アル ケ ミ ー、(有)耕 (た が や す)、(有)飯 田 造 園、日 本 海 興 発 (株)、
富 士 コ ン (株)、農 事 組 合 法 人 ガ イ ア と な み

特別活動

部活動 〈体育〉 バドミントン、卓球、陸上競技、バスケットボール
〈文化〉 芸術、放送、フードデザイン

特別活動の記録	令和3年度	令和4年度
全国定時制通信制大会	陸上競技 男子 100m 出場、200m 出場 400m 出場、800m 出場 4×100mリレー 出場 円盤投げ 出場 女子 400m 2位、200m 6位 100m 出場 砲丸投げ 4位	陸上競技 男子 400m 出場 卓球競技 男子 個人 出場
県 定 通 体 育 大 会	陸上競技 男子 団体 2位 卓球競技 男子 団体 2位	陸上競技 男子 400m 1位 女子 砲丸投 1位 卓球競技 男子 団体 準優勝
富 山 県 高 等 学 校 新 聞 コ ン ク ー ル	県高校新聞コンクール 奨励賞 全国高校新聞年間紙面審査賞 奨励賞	県高校新聞コンクール 奨励賞 全国高校新聞年間紙面審査賞 奨励賞
芸 術 部	富山県高校文化祭 写真部門 次点	富山県高校文化祭 写真部門 奨励賞

